

人権学習展開例〔第3学年〕

1 主 題 命の尊さを学ぶ

2 教材名

25 きみの家にも牛がいる

3 主題・教材について

牛乳や牛肉のほかにも革製品や肥料など、牛を原料としたものが日常生活の様々なところで使われている。

この教材では、牛から生み出された様々なものが、私たちの生活の中で役立っていることに気づき、生き物の命を大切にする気持ちを育みたい。

また、この教材をきっかけとして、食肉や皮革についての学習を行い、これらの産業を支えている人々の願いを学ぶ取組に発展させることも考えられる。

(関連領域：総合的な学習の時間、道徳)

4 ねらい ・牛を原料としたものが、生活の様々なところにあることを知る。

5 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	<p>「きみの家にも牛がいる」ってどういう意味だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題名から内容を予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に発表させる。 	
展開	<p>牛から作られているものにどんなものがあるかを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛から作られているもので、知っているものを発表し合う。 ・「きみの家にも牛がいる」の絵を見て、牛から作られているものできるだけ多く見つける。 ・見つけたものを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・牛肉、牛乳など食料としての牛の存在が予想される。 ・発表したものを、板書する。 ・牛から作られているものには、牛肉や牛乳以外にもたくさんあることに気づかせる。 	グローブ、ベルト、ゼラチン食品、フィルム など
まとめ	<p>学習をふり返ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習をふり返り、感じたことや思ったことを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・牛をはじめ、多くの生き物の命をいただいて、わたしたちが生活していることに気づかせたい。 	

【教材の出典】 解放出版社エルくらぶ 『きみの家にも牛がいる』 作：小森香折 絵：中川洋典
※原作を縮小して掲載しています。

【参考】

○1頭の牛の重さ(600kg~1t超)

○牛から作られるもの

乳	牛乳、バター、チーズ、ヨーグルト、生クリーム、アイスクリーム 等
肉、内臓、脂肪	牛肉、ホルモン、薬、マーガリン、石けん、ペットフード 等
皮	ベルト、くつ、ランドセル、バッグ、ボール、グローブ、ソファ、太鼓、コート、アイスクリーム、ゼリー、グミキャンディー、ポマード、フィルム、ガムテープ、ペットフード 等
爪、角	ボタン、印鑑、接着剤、カプセル、パイプ、ハンドクリーム 等
フン・尿	肥料 等

○「鳴き声以外はむだにしない」とされていた牛であるが、現在は、BSE対策として、脊柱をはじめ、頭部や脊髄などは焼却処分される部位があり、血液も使用されていない。